



eBoard

シェアライド電動キックボード

移動はもっとスマートになる！

最新のシェアリングテクノロジーとソリューションを提案します。

電動キックボードが世界中で普及するいくつかの理由

利用者のメリット



短～中距離移動に便利



女性でも乗りやすい



渋滞に巻き込まれない



乗ること自体が楽しい

国と自治体の施策

CO2削減

温暖化対策

MaaS

withコロナ



手軽に楽に目的地へ移動できる軽快性
ラストワンマイルの移動手段

電動キックボード 市場規模の推移

2017年 カリフォルニア州で電動キックボードシェアリングサービスが始まる

2018年 アメリカ国内だけで約85,000台が稼働

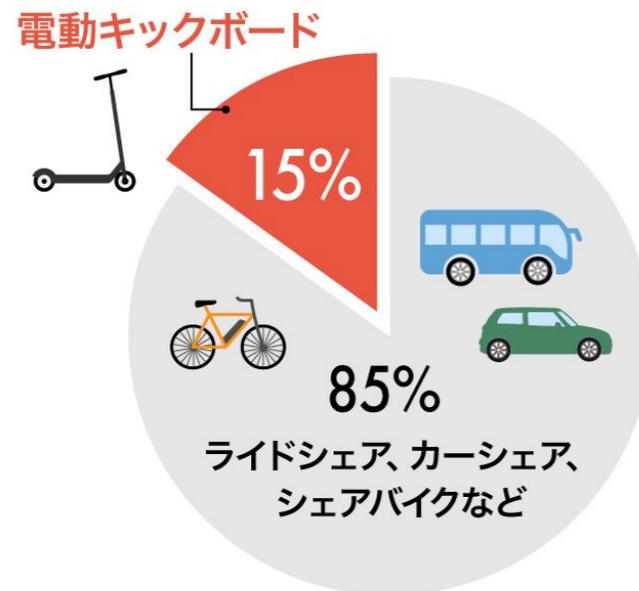
2019年 韓国100,000台以上が稼働、ドイツ ベルリン1都市だけで110,000台強の稼働

2025年までに約400億～500億ドル（約5兆～7兆円）に達すると目されている。

(出典：ボストンコンサルティンググループ)

電動キックボードは無視できない存在に

2025年のオンデマンド型
移動サービス市場におけるシェア (推計)

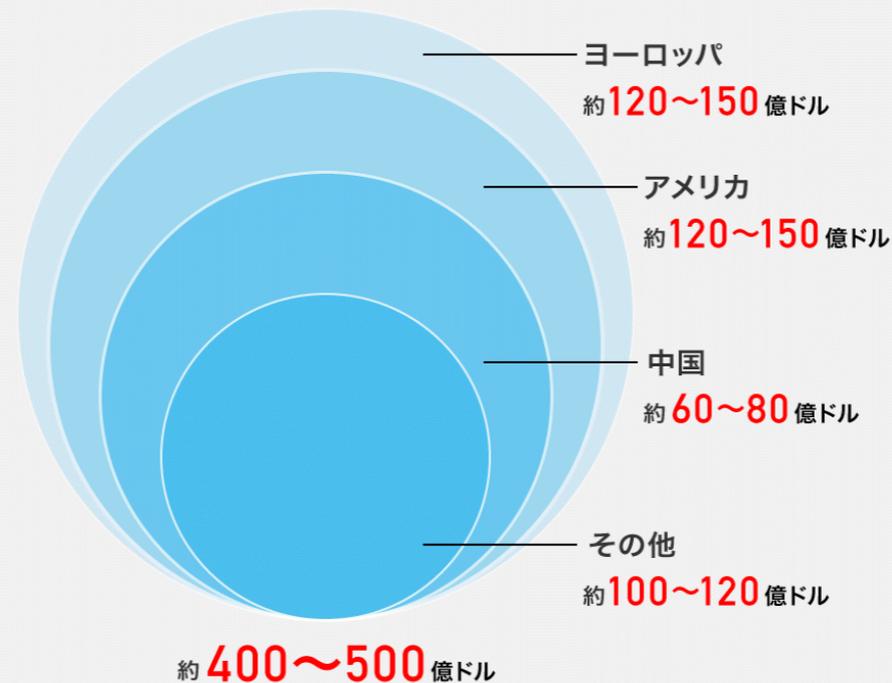


*米ボストンコンサルティンググループ「The Promise and Pitfalls of E-Scooter Sharing」を基にダイヤモンド編集部作成

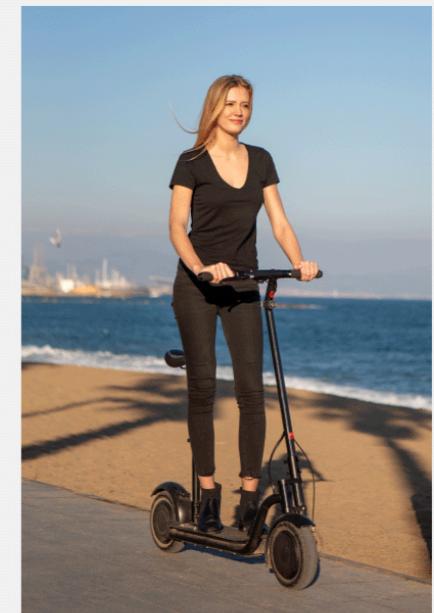


電動キックボードの市場規模

2025年 電動キックボードの市場規模 (予測)



※ボストンコンサルティンググループより



世界では新たな交通インフラとして市場が拡大している

すでに海外では日常的な移動ツールとして普及している。

日本の電動キックボードの現状と将来

道路交通法により普及が遅れていた日本、
新たな枠組みにより普及を目指す！



2024年4月 道路交通法の改正が衆議院で可決

	現行制度	新制度（施行は2年内めど）
車種	原動機付き自転車	特定小型原動機付き自転車
運転免許	原付免許または普通二輪免許	不要（16歳未満は運転禁止）
最高速度	時速30km以下	時速20km以下
走行	車道走行	・車道走行 ・最高速度時速6km以下の機体は歩道通行可(自転車通行可の歩道に限る)
ヘルメット	義務	努力義務
自賠償保険		義務
任意保険	必要（ファミリーバイク特約可）	

当社の電動キックボードは経済産業省の産業競争力強化法を採用することで「小型特殊車両」扱いになります。



新事業特例制度の認定事業の特権

経済産業省の認定事業者による実証実験

特例エリア内で運営



認定事業者の特例エリア
内で実証実験

小型特殊車両扱い



公道および自転車専用
通行帯で走行可能

ヘルメット着用は任意



原付扱いではないため
ヘルメットの着用は任意

さらに道路交通法改正後は16歳以上は免許不要となり、
日本でも新たな交通インフラとして普及を見込む

大幅緩和の改正道路交通法

時速6km以下で歩道走行も可能に！

施行後には新しい交通インフラのツールとして爆発的に普及すると目されています。

日本の文化にフィットした電動キックボードシェアリングサービス

観光+電動キックボード OEMシェアリングパッケージ

eBoard社

システム構築、許認可など
準備段階から運営までバックアップ

経済産業省

新事業特例制度申請サポート

車両調達・システム構築
運営管理サポート

導入企業

独自ブランドで参入可能
地域経済と企業アセットの向上

主な運営業務

ポートの管理

車両の配置

バッテリー
充電管理

メンテナンス

地域密着ブランドの創出

自治体との連携の期待

地元を受け入れやすい

回遊性向上と地域の活性化

実績案件

直営展開 2022年1月

横浜市、一般社団法人横浜港振興協会との協定により「ヨコハマベイスクーター」の運営を開始。

OEM展開 2022年8月

近畿日本鉄道グループの株式会社アド近鉄との協業提携契約により、奈良県初となる地域密着ブランド「TabiMO」の運営を開始。

OEM展開 2022年11月

株式会社アトラックラボとの協業提携契約により、埼玉県初となる地域密着ブランド「AT RIDE」の運営を開始。



※2022年10月5日時点

観光地の移動をもっとエンターテイメントに！

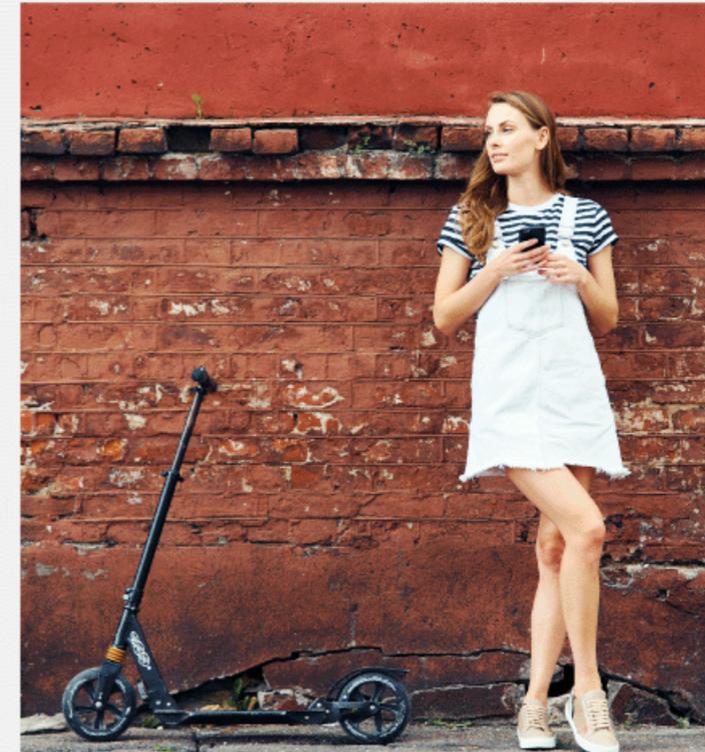
電動キックボードが提供する価値



ラストワンマイルの解決



スポーツ感覚で
楽しい移動時間



観光客の回遊性向上



「食べる」「買う」「遊ぶ」「休む」
点在する観光拠点をシームレスに繋ぐ

観光地が抱える課題を解決する電動キックボード

人気観光地の混雑と渋滞

日常的な渋滞



人気スポットの人混み



地域住民の妨げ



観光地の混雑や渋滞が解決されないままとなっている

人の移動をスムーズに誘導する仕組みづくりが必要

電動キックボードをラストワンマイルの移動手段と位置付ける。

MaaS（マース：Mobility as a Service）とは

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

MaaS



電車



タクシー



バス



レンタカー



シェアサイクル



ライドシェア



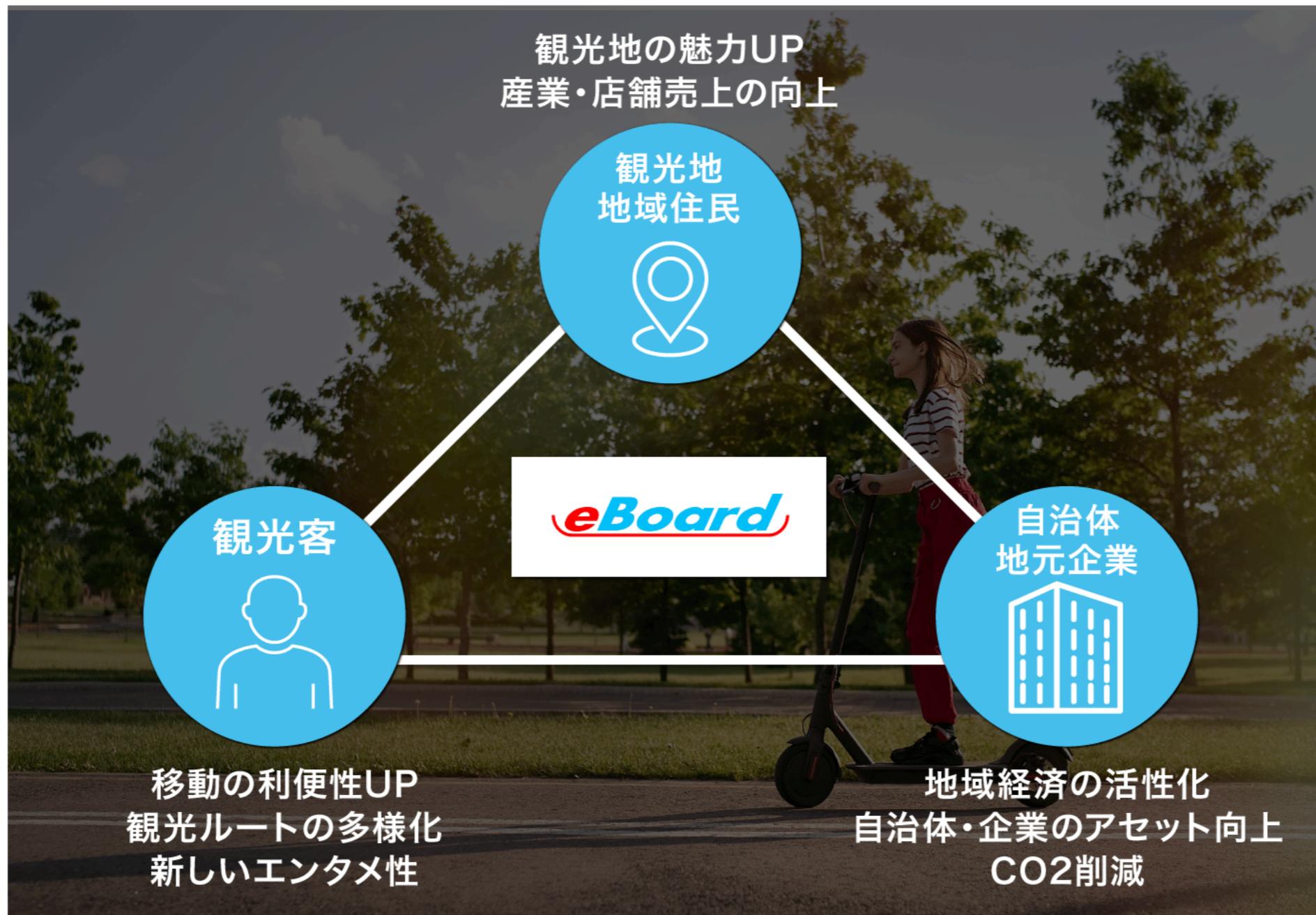
カーシェア



MaaSにおけるラストワンマイルの移動手段へ



「三方よし」の共通の価値観を醸成



観光地の新たな活性化ツールに最適です。



世界シェア70%以上 数百万台の稼働実績

SEGWAY NINEBOT社製 MAX PLUSシリーズを採用

圧倒的な耐久性と機能性に優れたシェアリング専用モデルです。

IOTデバイス搭載により遠隔による運営管理ができます。

GPS機能搭載によるジオフェンスの設定ができます。

低重心設計により抜群の安定性で簡単に、安全に走行できます。

全天候に対応！車両防水性能 IPX5

サイズ : 120cm x 118 cm

航続距離 : 50 km (フル充電4時間)

車体重量 : 27.5 kg

積載重量 : 100 kg

保管面積 : 1m30cmx60~80cm



道路運送車両の保安基準に準拠

バックミラー、前照灯 (ヘッドライト)

制動灯 (ブレーキ) ホーン、ウィンカーを装備

サービスに多彩なアレンジができる観光特化型アプリ！
共通シェアリングブアプリ「Kick Board Share」で運営できます。



各地域ブランドで同じアプリで利用できます。



地域クーポンの発行

多彩な料金設定

全国共通クーポン発行

車両予約機能搭載

乗り放題プラン対応

宿泊セット対応

アプリが利用時間から料金を算出、キャッシュレス決済
多彩な支払い方法に対応しています。



*「PiTaPa」はご利用いただけません。

順次対応 一部決済は非対応です

すべての電動キックボードはIoTにより安全に制御されています。

IoT搭載

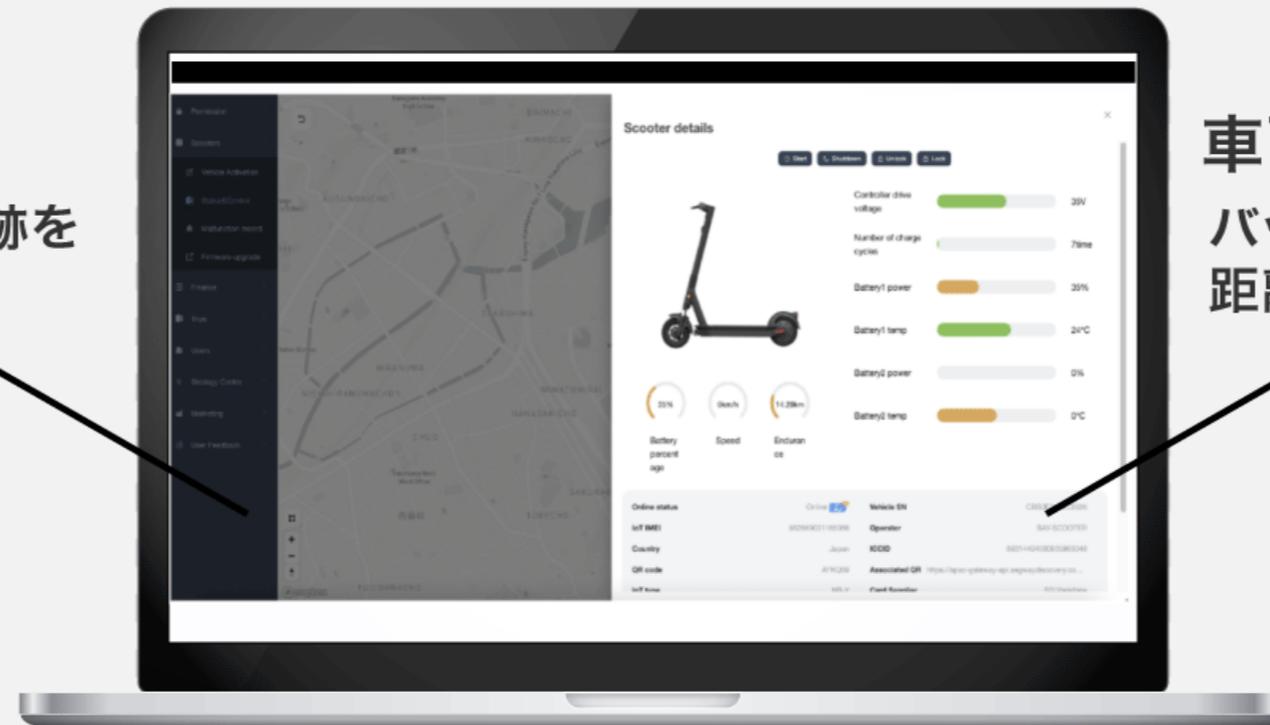


GPS搭載

全ての電動キックボードを遠隔で管理

走行エリア

車両の走行軌跡を
地図上で管理



車両の情報

バッテリー残量や走行
距離などの情報を確認

全ての車両をシステムで管理し、運行状況をリアルタイムに把握

ジオフェンス機能でサービスエリアを安全に管理できます。

走行エリア

エリアから出るとアラームが鳴りアクセル操作ができなくなる。

低速エリア

低速エリアに入ると自動で設定速度に減速、低速エリアから出ると通常速度に自動で復帰。

走行禁止エリア

侵入するとアラームが鳴り、アクセル操作ができなくなる。

走行エリアを区分けするジオフェンス



地域ごとに走行可能エリアと走行禁止エリアを設定できるため、安全を確保したうえで人流を整備できる





利用状況の把握で効果的な施策づくりが可能です

利用者の走行エリア、走行距離、走行時間、走行軌跡などの情報をリアルタイムで取得。

利用状況をデータ化することで季節や地域による人の流れを把握できます。

GPSとIoTで車両を1台ごとにシステムで管理

走行軌跡

走行距離

走行時間



車両が走行した軌跡をリアルタイムで把握できる

全天候に対応！車両防水性能 IPX5

設置場所を選ばない、無人ポートで運営可能

ポートの占有面積

W1800 x H1,200 に 4 台設置可能

乗り捨てポートでは6台から8台分のスペースが必要です。
車両以外の設置物は案内板と路面保護ゴムシートのみです。



お問い合わせ・ご相談依頼

info@eboard.co.jp

シェアリングサービスのご相談、ご案内などオンラインでも承ります。

株式会社eBoard

神奈川県横浜市金沢区白帆4番地 シーサイドピア3階

Tel:050-5534-1110